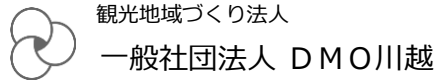


令和6年度(2024年度)
観光地域づくりアンケート報告書



ver. 2025年3月31日①

I. 実施概要

目的	観光地域づくりを推進するにあたり、川越市関係者のご興味あることやチャレンジしたいことを把握し、様々な方をつなげることで、共に よりよいまちを創っていくきっかけとする。	
実施期間	・ 令和7年1月7日(火)から告知開始。 ・ 回答期間は1月7日(火)～2月18日(火)。	
手法	・ DMO川越が中心となって作成したアンケートをWEB上（Google Forms上）にて回答。 ・ 主な周知方法は、川越商工会議所のデジタル会報での周知および小江戸川越観光協会会員への案内葉書郵送等を通じて回答を依頼。	
回答対象者	・ 川越市に関わりのある組織・団体・会社等	
お問合せ先	一般社団法人 DMO川越 〒350-0056埼玉県川越市松江町2-9-2_2F TEL：049-299-7401／FAX：049-299-7402 Email：info@dmo-kawagoe.or.jp（代表） 公式サイト：https://dmo-kawagoe.or.jp/	

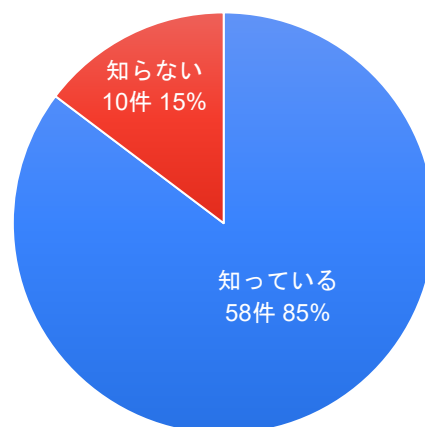
II. アンケート集計

◆問1 弊社『DMO川越』に対してお聞きします。

問1-(1) 『DMO川越』をご存じですか？（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
1 知っている	58件	85%
2 知らない	10件	15%
総計	68件	100%

DMO川越の認知度

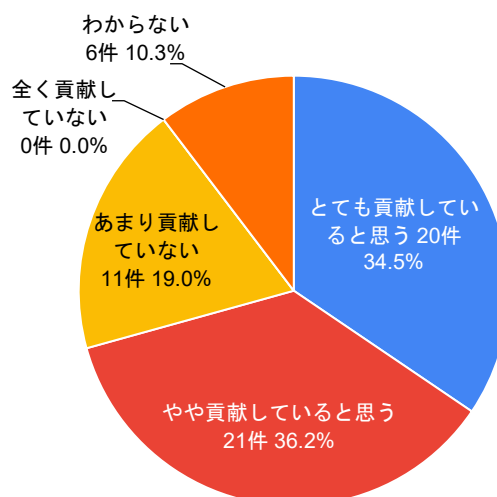


問1-(2) 上記(1)の質問で「知っている」と回答した方にお聞きします。 DMO川越の取り組みは、あなたの組織・団体・会社等または地域に対して 貢献していると思いますか？（1つ選択）

n=58

選択肢	回答数	割合
1 とても貢献していると思う	20件	34.5%
2 やや貢献していると思う	21件	36.2%
3 あまり貢献していない	11件	19%
4 全く貢献していない	0件	0%
5 わからない	6件	10%
総計	58件	100%

DMO川越の貢献度 (n=58)



◆問2 あなたの組織・団体・会社等についてお聞かせください。

問2-(1) あなたの組織・団体・会社等の名称をご記入ください。

(こちらの設問は、それぞれ「組織・団体・会社等の名称」であるため、当集計では掲載しない。)

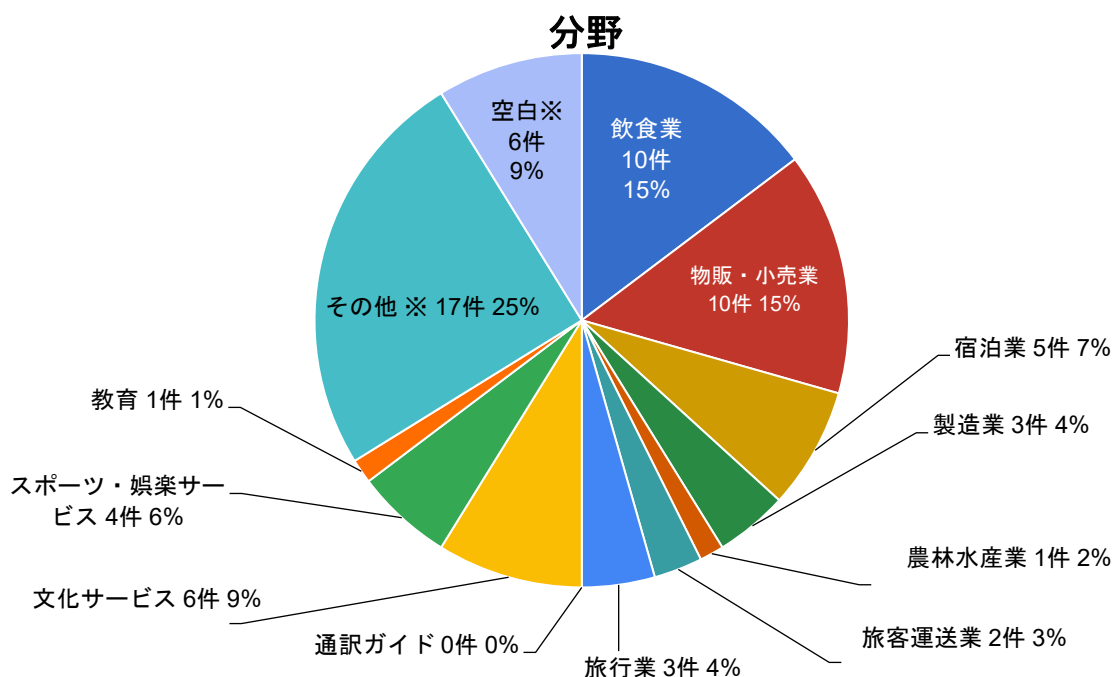
問2-(2) あなたの組織・団体・会社等の分野は次のうちどれにあたりますか？

(最も近いものを1つ選択)

選択肢	回答数	割合
1 飲食業	10件	15%
2 物販・小売業	10件	15%
3 宿泊業	5件	7%
4 製造業	3件	4%
5 農林水産業	1件	1%
6 旅客運送業	2件	3%
7 旅行業	3件	4%
8 通訳ガイド	0件	0%
9 文化サービス	6件	9%
10 スポーツ・娯楽サービス	4件	6%
11 教育	1件	1%
その他 ※	17件	25%
空白※	6件	9%
総計	68件	100%

※その他・空白の内訳

分野等	件数
まちづくり	5件
建設業	3件
観光	2件
コンサルティング	2件
公益団体	3件
情報通信	2件
印刷	1件
卸業	1件
金融業	1件
地域コミュニティ	1件
不明	2件
小計	23件



◆問3 あなたの組織・団体・会社等の「取り組み」についてお聞かせください。

問3-(1) まちの活性化に寄与するような取り組みをおこなっていますか？

または取り組みたいことはありますか？ ございましたら、具体的にお書きください。

▼「現在取り組んでいること」について、ご回答を大きくまとめた概要は以下。(さらに詳細等をお知りになりたい方はDMO川越にお問合せ下さい。以降同様。)

1. 食文化と地場産業の振興の取り組み

太麺焼きそばや地ビール、地域の農産物を使ったスイーツなど「食」の魅力を発信する取り組み。

川越唐棧のような伝統工芸品を活かした商品開発を通じて、地場産業の振興と商品力向上を図っている取り組み。

2. 観光体験の価値向上と情報発信の取り組み

着物文化の推進、収穫体験、まち歩き企画などを通じて、川越ならではの体験価値を提供している取り組み。

SNSやラジオ、独自のマップ作成により、ガイドブックにはない地域の魅力を積極的に発信し、新たな観光スポットの開拓も進めている取り組み。

3. 賑わい創出と地域課題への貢献の取り組み

商店街イベントやナイトタイムエコノミー活性化で賑わいを創出する取り組み。

清掃活動やSDGs、オーバーツーリズム・空き家対策への取り組み。

花手水やLGBTQウェディングといった、多様性を受け入れる先進的な取り組みなど。

▼「今後取り組みたいこと」について、ご回答を大きくまとめた概要は以下。

1. 観光面で、川越らしい独自性のある土産品の企画開発、宿泊業が関わる夜の観光コンテンツの創造、新たな観光スポットの発信などの取り組み。

2. 農業遺産の広報やグリーンツーリズムの推進といった地域の農業資源を活用するアイデアや、人力車の特性を活かした防災・防犯への協力など、地域資源を多角的に活用する取り組み。

3. 歴史や先人を尊重しつつ、新しい文化やアートを発信していく取り組みや、観光振興だけでなく、防災や文化醸成といった幅広い分野で地域に貢献する取り組み。

問3-(2) 上記(1)でご回答された方にお聞きします。

その取り組みに対して、妨げになっている課題(妨げになりそうな課題)があれば具体的に書きください。

いただいた回答を大きくまとめた概要は以下。

1. 資金・予算不足

最も多くの回答で指摘されたのが、資金的な問題。

マーケティングや事業者支援、さらには歴史的価値のある廃屋の改修といった、まちの魅力を維持・向上させるための活動において、慢性的な予算不足が深刻な課題。

物価や最低賃金の上昇が経営を圧迫する中、行政からの十分な支援が得られず、自己負担を強いられているとの回答も。

2. 情報発信の課題と観光客の一極集中

「川越観光＝一番街・蔵造りの町並み」というイメージの固定化と、それに伴う特定エリアへの観光客の過度な集中。

メディアや一部SNSによる情報発信がこの一極集中を助長していること。

周辺にもある川越の面白さや新しいコンテンツを周知しきれておらず、一番街から少し離れたエリアの認知度不足や関心の低さ。

3. 連携体制の不備と推進力の欠如

まちづくりへの思いを共有する団体が多数存在する一方で、それらを束ね、一体的な取り組みを推進する力が不足していること。

事業者間の協力が得にくかったり、多くの団体とのやりとりが煩雑になったりと、連携の難しさが課題。また、強力なリーダーシップが不在。

4. 人材、インフラ、その他の課題

上記の課題に加え、人員不足や高齢化、活動の主体となる運営体制や時間の確保といった人材面での困難といった課題も。

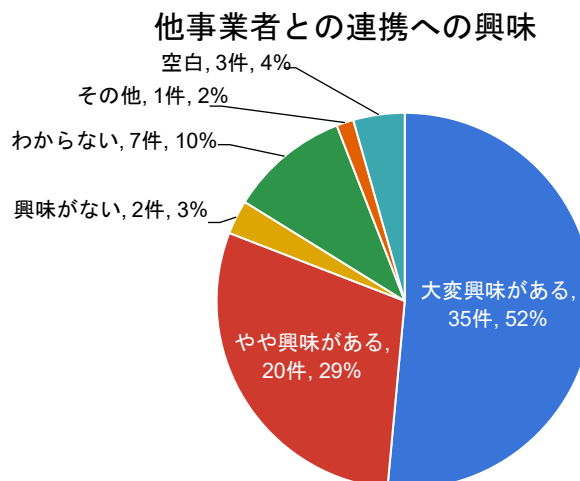
交通の不便さ、朝晩に営業する飲食店の少なさ、休憩所の不足といったインフラ面の整備が遅れていること。

その他、観光客によるマナー違反、川越唐棧などの地域固有の文化資源の知名度の低さ、農業遺産である林のナラ枯れ問題など。

◆問4 他の組織・団体・会社等との連携について お聞かせください。

問4-(1) 今後、DMO川越を含め、他の組織・団体・会社等との連携にご興味はありますか？（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
1 大変興味がある	35件	51%
2 やや興味がある	20件	29%
3 興味がない	2件	3%
4 わからない	7件	10%
5 その他	1件	1%
6 空白	3件	4%
総計	68件	100%



問4-(2) 上記(1)で「1.」または「2.」と回答した方にお聞きします。

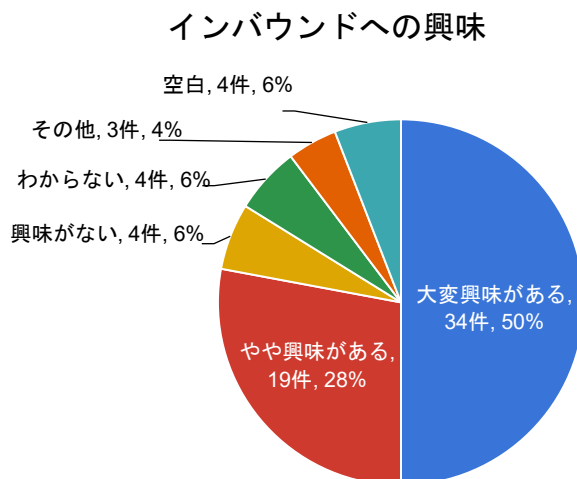
DMO川越から貴殿にご連絡してよろしければ、以下①～④の連絡先をご教示ください。
(いただきました情報は弊社内で留め、もしマッチングをおこなうような場合には、双方からご了承をいただいた上でご連絡させていただきます。)

(この回答は『連絡先』等なので、当集計には掲載しない。)

◆問5 インバウンド(外国人観光客)についてお聞かせください。

問5-(1) 来年度以降、DMO川越では、主にインバウンドに関連して、知識を得たり、情報共有や交流を図るための場を開催していこうとしています。ご興味ありますか？（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
1 大変興味がある	34件	50%
2 やや興味がある	19件	28%
3 興味がない	4件	6%
4 わからない	4件	6%
5 その他	3件	4%
6 空白	4件	6%
総計	68件	100%

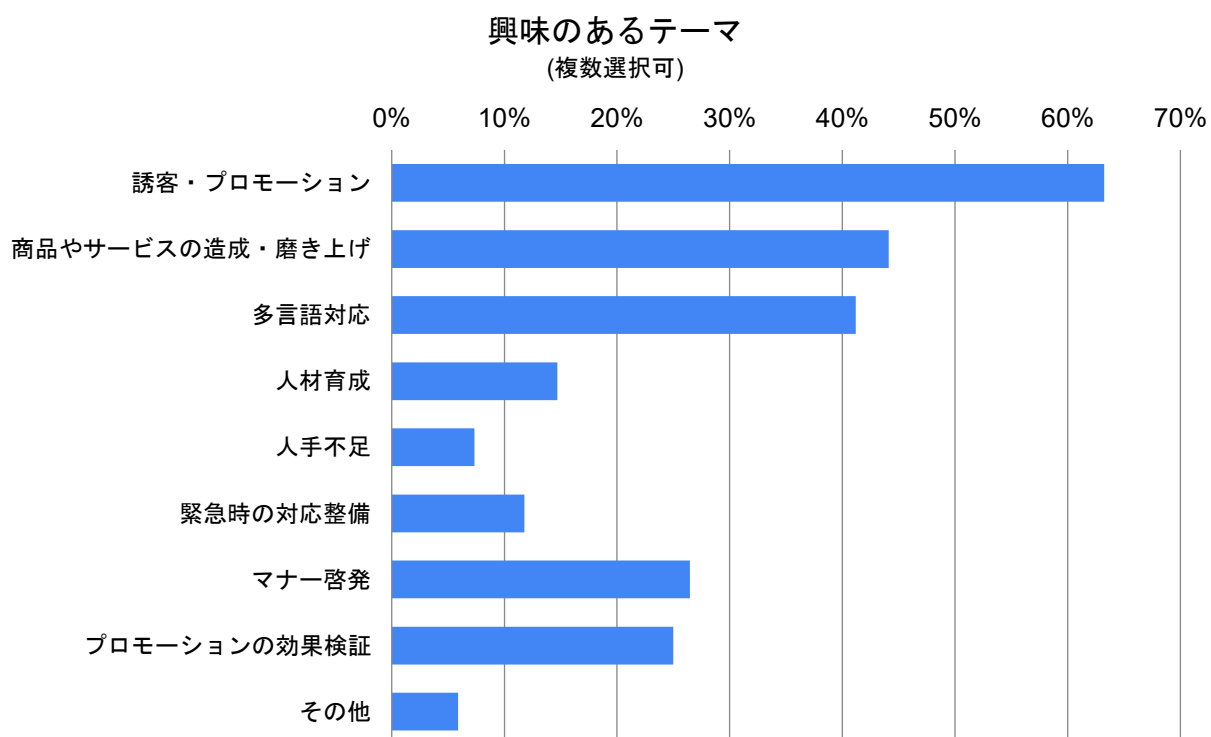


問5-(2) (2) 上記(1)で「1.」または「2.」と回答した方にお聞きします。

具体的にどのようなテーマに興味がありますか？（複数選択可）

n=68

選択肢	回答数	割合
1 誘客・プロモーション	43件	63%
2 商品やサービスの造成・磨き上げ	30件	44%
3 多言語対応	28件	41%
4 人材育成	10件	15%
5 人手不足	5件	7%
6 緊急時の対応整備	8件	12%
7 マナー啓発	18件	26%
8 プロモーションの効果検証	17件	25%
9 その他	4件	6%
母数	68件	100%



◆ 問6 最後に、川越の街についてあなたの想いをお聞かせください。

問6-(1) あなたにとって、川越のまちで大切にしていきたいモノやコトは何ですか？

具体的にお書きください。

いただいた回答を大きくまとめた概要は以下。

1. 蔵造りの町並みに代表される歴史的な街の風景を大切にしたいという声をもっとも多く寄せられました。単なる古い建物についてだけではなく、「周りの人との協調性、気遣い」で築かれたかけがえのないものであることや、「景観の維持」や「清潔感、文化資産」として守っていくべきものとの意見もありました。

2. 川越は観光、商業、工業、農業がバランス良く共存している点が誇りであり、「古き良き物と新しい物のバランス」を取りながら、伝統を守りつつも進化していくまちづくりを望む意見が多くありました。特に、川越にゆかりのある事業所が活躍できる場を大切に、地域経済の活性化にも繋げていきたいという意見もありました。

3. 川越まつりに象徴される伝統文化や行事の継承についても意見が寄せられました。川越のまちの根幹を成す要素として重要であること、「地域の人とのつながり」を強め、「人と人とのつながり」や「コミュニティ」を育む大切な機会であること、住んでいる人々が「誇りに思える川越の町」であり続けるために不可欠であること、「伝統あるもの、価値あるものなどを後世に残したい」などの意見がありました。

問6-(2) 「観光を通じた地域づくり」について、ご意見やご提案などがありましたら、ご自由にお書きください。

いただいた回答を大きくまとめた概要は以下。

1. 観光客によるゴミや渋滞、歩行者の問題など、地域住民への影響を懸念している意見が多く寄せられました。観光の恩恵が住民にも実感できるような仕組みづくりや、住民が誇りを持てる取り組みを求めている意見や、観光客が集中しがちな現状に対し、広い範囲への誘導や、交通整備、大型バスの規制等の具体的な提案もありました。

2. 川越の観光をより質の高いものにするため、「二度三度と訪問したくなるPR」や「一日中楽しめる空間作り」が重要との意見もありました。単なる見物だけでなく、「江戸時代にタイムスリップしたような体験」を提供できる施設や、地域の文化を掘り起こすソフト事業、そして「ヒトと人の繋がりがあがる交流的な観光事業」などの提案もありました。

一方で、「食べ歩き」など無責任な商売への警鐘や、質の高いサービス提供を求める意見もありました。

3. 観光を通じた地域活性化として「地元の方と協力、共有」し、地域全体が一体となって取り組むことが重要であるなどの意見があり、観光客だけでなく、市民や事業者が「WinWin」の関係を築けるような仕組みや、観光税などを通じた市民への還元についての提案もありました。多様な立場の意見交換を通じて、川越らしい観光と地域共存の未来を築いていくことのDMO川越への役割を求める意見もありました。

アンケートにご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。